

# 第105期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第105期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）における事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

平成30年6月



代表取締役社長

亀井文行

### コーポレート・スローガン

くらしの中に未来をひらく

### 企業理念

当社は地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。

# 事業の概況

## 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済は、緩やかな回復が続きましたが、米国の各種政策の影響、中国を始めアジア新興国などの経済の先行き、英国のEU離脱問題の影響など不透明な状況が続いております。

国内経済は、政府の各種政策を背景に雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかに回復しておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意が必要な状況にあります。

エネルギー業界におきましては、原油価格の先行きが不透明な状況のなか、国内石油製品の構造的な需要減少が続いております。また、電力や都市ガスの小売全面自由化により、従来の垣根を越えた異業種間の顧客獲得競争が一段と激化しております。

このような環境のもと、当社グループは、お客様の多様なニーズに的確にお応えするため、新商材、新事業開発に積極的に取り組むとともに、各種商材の複合営業を強力に推進しました。また、グループの総合力向上と経営基盤を強化し将来にわたる持続的な成長を図るため、新規顧客獲得を推進するとともに、M&Aによる事業領域の拡大に積極的に取り組み、サンエイト貿易株式会社（高級洋菓子原材料の販売）、株式会社コダマ（食肉の加工製造及び販売）などを当社グループに迎え入れ、食料事業の強化を図りました。さらに、環境の変化に対応すべく、組織、財務、物流などの改革を推進し経営の効率化に努めました。

以上の結果、売上高は石油製品価格上昇や、新たに連結した子会社が寄与したことなどにより4,477億74百万円（前期比105.7%）、営業利益はM&Aに伴う一時費用の計上など販管費の増加により98億2百万円（前期比93.6%）、経常利益は108億47百万円（前期比90.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益は65億77百万円（前期比83.9%）となりました。

なお、第105期の期末配当につきましては、当期の業績及び今後の経営環境等を総合的に勘案し、当社普通株式1株につき12円50銭とさせていただきます。これにより、中間配当金（1株につき12円50銭）を加えました通期の配当金は、1株につき25円となりました。

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)
第105期	447,774	9,802
第104期	423,469	10,474
第103期	420,875	11,453

# 事業の概況

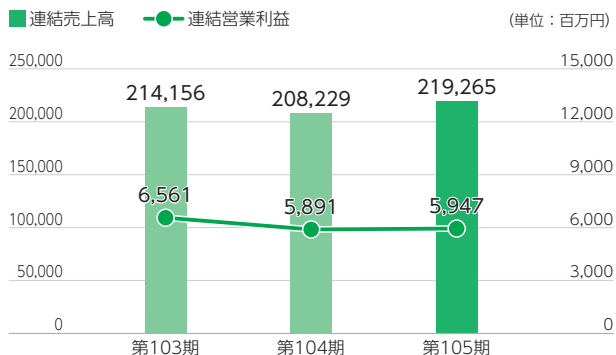
## エネルギー事業



当事業部門における石油関係につきましては、石油製品需要の減少や元売各社の再編による影響など厳しい販売環境のなか、新規・深耕開拓に努めました。また、化学品、環境商材などの提案営業や各種取扱商材の複合営業を強力に推進しました。

ガソリンスタンド関係につきましては、お客様のニーズにお応えするため、タイヤ、車検及びコーティングなど、トータルサービスの充実を図るとともに、店舗のリニューアルを推進し競争力の強化に努めました。

LPガス関係につきましては、電気とLPガスを組み合わせた料金プランの提供などによる新規顧客獲得やM&Aによる商権獲得を推進するとともに、ガス空調機（GHP）、家庭用燃料電池（エネファーム）、ハイブリッド給湯器などの環境商材の拡販によりLPガスの需要拡大に取り組みました。



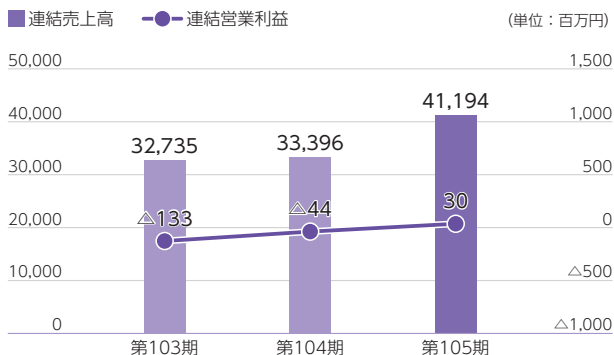
## 食料事業



当事業部門における食品関係につきましては、農産品の主食用米は新規・深耕開拓の推進などにより順調に推移しました。畜産品は、スーパーマーケットや飲食店向け加工製品の拡充と新商材の取り扱いなどにより好調に推移しました。食品原材料は、ヨーロッパの高級洋菓子原材料などの取扱商品を拡充し、販売強化に努めました。

酒類関係につきましては、地酒などの差別化商品の販売強化や輸入ワインの取り扱いブランド拡充による販路拡大に努めたものの厳しい状況となりました。

なお、当期より当セグメントの連結子会社の管理区分を変更しております。詳細は10ページに記載のとおりであります。

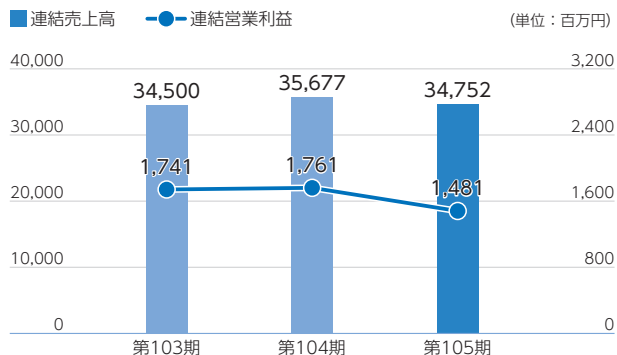


## 住宅関連事業



当事業部門におけるハウジング関係につきましては、ハウスメーカー及び工務店への住宅設備機器の提案営業や、メーカーとの合同展示販売会を開催し顧客獲得に努めたものの厳しい状況となりました。

建設資材関係につきましては、鉄骨工事や外装工事が受注強化により伸長したものの、土木資材の需要減少などにより、やや厳しい状況となりました。



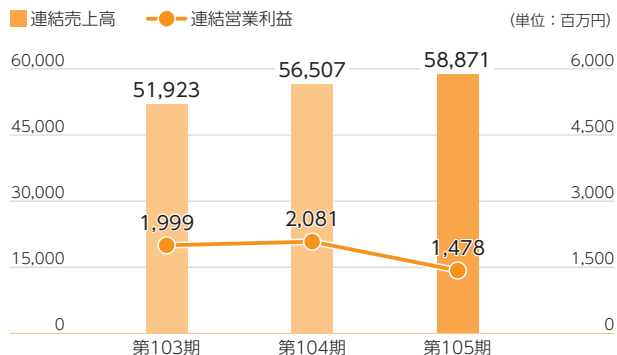
## 自動車関連事業



当事業部門における国産車販売につきましては、法人営業の強化や展示販売会の開催などにより販売台数は堅調に推移しましたが、店舗のリニューアルなどに伴い販管費が増加し、やや厳しい状況となりました。

輸入車販売につきましては、販売体制の強化や新型車の販売促進効果により販売台数が伸長したものの、販管費の増加などにより厳しい状況となりました。

レンタカー関係につきましては、店舗網の拡充効果や法人客の新規・深耕開拓などにより堅調に推移しました。



# 事業の概況

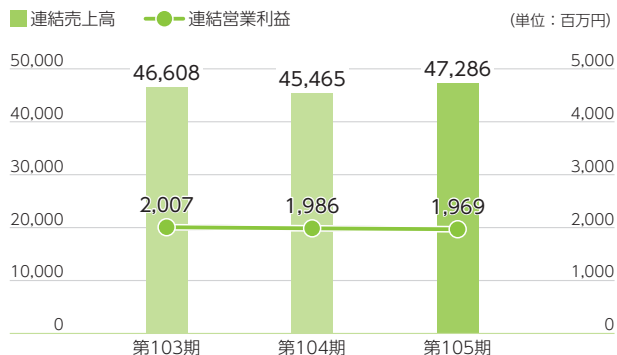
## 海外・貿易事業



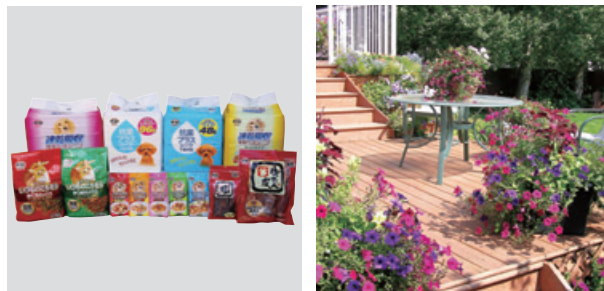
当事業部門における海外事業関係につきましては、米国内で展開する日系スーパーマーケットはテキサス州とハワイ州への出店による店舗網の拡充や、生鮮品・中食コーナーでの品揃えの充実を図り販売強化に努めたものの、出店に伴う販管費の増加により、やや厳しい状況となりました。

貿易事業関係につきましては、輸出はアジア向けベアリング及び産業用部材の電装部品などの販路拡大により順調に推移しました。輸入はロシア産水産物の鮭鱒などの販売強化を図ったことにより前年並みとなりました。

なお、当期より当セグメントの連結子会社の管理区分を変更しております。詳細は10ページに記載のとおりであります。

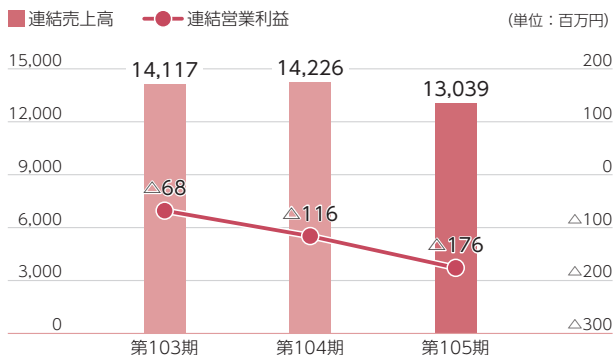


## ペット関連事業



当事業部門におけるペットフード・用品関係につきましては、自社ブランド商品の開発強化とホームセンターなどへの販路拡大に努めましたが、販売チャネルの多様化による販売競争の激化などにより厳しい状況となりました。

園芸用品関係につきましては、自社ブランド除草剤・肥料の拡販や新規・深耕開拓に努めたものの厳しい状況となりました。



## ファーマシー事業

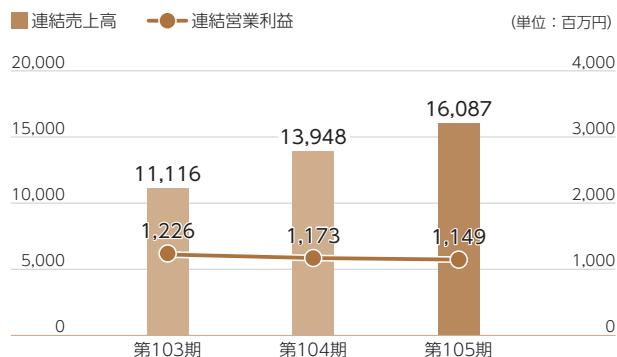
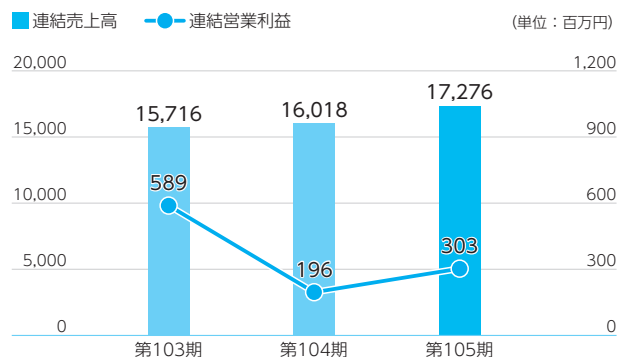


当事業部門につきましては、新規出店及びM&Aによる店舗網の拡充効果などにより取り扱い処方箋枚数が伸長したほか、在宅医療や「かかりつけ薬剤師・薬局」への取り組みを推進したことにより好調に推移しました。

## その他の事業



その他の事業につきましては、オフィス機器販売、リース業、運送業及び保険代理店業などを展開しており、新規・深耕開拓を強化し拡販に努めました。



# 事業の概況

## 企業集団の対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、原油価格の動向や内需減少による競争激化、海外景気の下振れリスクなど、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

主力のエネルギー事業におきましては、石油製品の構造的な需要減少や元売各社の再編による石油流通業界への影響が懸念されます。また、電力や都市ガスの小売全面自由化により、従来の垣根を越えた異業種間の顧客獲得競争が一段と激化しております。

さらに、当社の事業基盤に占める国内の割合が高いことから、人口減少・少子高齢化に伴う中長期的な需要減少への対応も重要な課題であります。

このような状況のもと、当社グループは、将来にわたる持続的成長に向け、中長期的な経営戦略の実現を目指し、引き続き新規顧客獲得、新商材・新事業の開発並びにM&Aを積極的に推進し、経営基盤の拡充と国内外のネットワークの強化を図り、企業価値の更なる向上に努めてまいります。

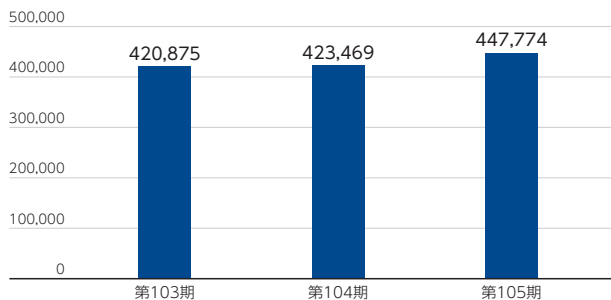
また、環境の変化に対応すべく、組織、財務、物流などの改革を継続的に実施し、経営全般にわたる一層の効率化を図り、更なる業績向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績の推移

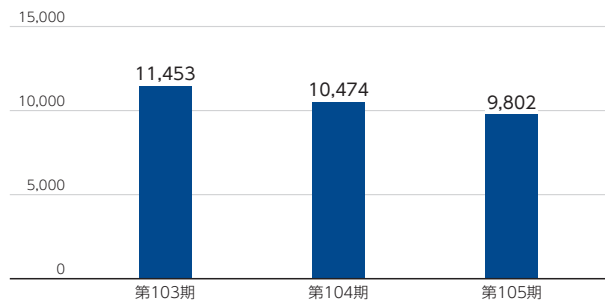
## 売上高

(単位：百万円) ■ 通期



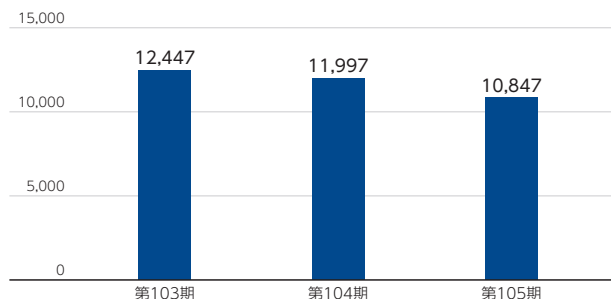
## 営業利益

(単位：百万円) ■ 通期



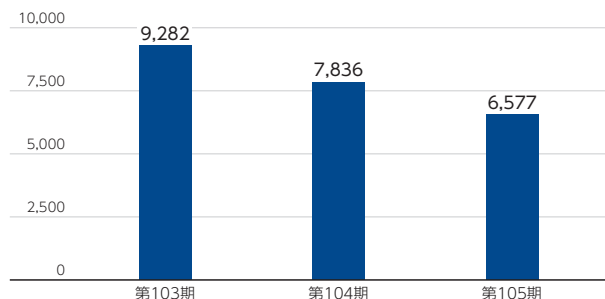
## 経常利益

(単位：百万円) ■ 通期



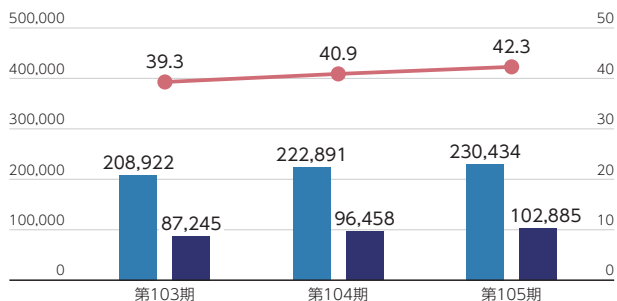
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円) ■ 通期



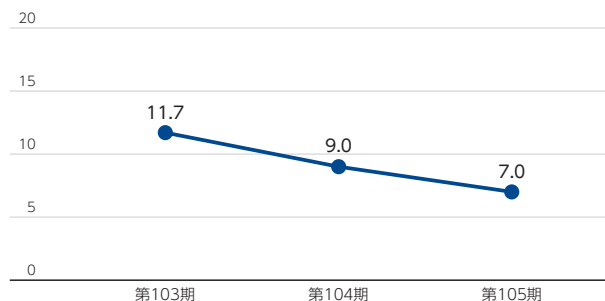
## 総資産・純資産・自己資本比率

(単位：百万円) ■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率 (単位：%)



## 自己資本当期純利益率 (ROE)

(単位：%) ● 自己資本当期純利益率



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期		前 期	
	平成30年3月31日現在		平成29年3月31日現在	
(資産の部)				
<b>流動資産</b>	<b>132,827</b>	<b>128,149</b>		
現金及び預金	28,630	28,604		
受取手形及び売掛金	65,392	59,929		
商品及び製品	19,569	17,395		
その他	19,407	22,374		
貸倒引当金	△173	△154		
<b>固定資産</b>	<b>97,607</b>	<b>94,741</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>66,363</b>	<b>63,030</b>		
建物及び構築物	18,734	18,411		
土地	30,638	29,228		
その他	16,990	15,391		
<b>無形固定資産</b>	<b>6,782</b>	<b>7,903</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>24,461</b>	<b>23,807</b>		
<b>資産合計</b>	<b>230,434</b>	<b>222,891</b>		
(負債の部)				
<b>流動負債</b>	<b>101,619</b>	<b>106,414</b>		
支払手形及び買掛金	40,908	36,831		
短期借入金	40,334	47,004		
賞与引当金	1,427	1,326		
その他	18,948	21,252		
<b>固定負債</b>	<b>25,929</b>	<b>20,019</b>		
長期借入金	11,854	6,984		
退職給付に係る負債	2,199	2,141		
資産除去債務	1,026	913		
その他	10,849	9,978		
<b>負債合計</b>	<b>127,549</b>	<b>126,433</b>		
(純資産の部)				
<b>株主資本</b>	<b>92,419</b>	<b>86,694</b>		
資本金	8,132	8,132		
資本剰余金	7,248	7,266		
利益剰余金	81,266	75,521		
自己株式	△4,227	△4,227		
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>5,031</b>	<b>4,473</b>		
<b>非支配株主持分</b>	<b>5,433</b>	<b>5,289</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>102,885</b>	<b>96,458</b>		
<b>負債・純資産合計</b>	<b>230,434</b>	<b>222,891</b>		

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	447,774	423,469
売上原価	379,435	358,570
売上総利益	68,338	64,898
割賦販売未実現利益戻入額	3,667	3,416
割賦販売未実現利益繰入額	3,921	3,667
差引売上総利益	68,084	64,647
販売費及び一般管理費	58,281	54,173
営業利益	9,802	10,474
営業外収益	1,875	2,252
営業外費用	830	729
経常利益	10,847	11,997
特別利益	835	847
特別損失	457	530
税金等調整前当期純利益	11,225	12,314
法人税、住民税及び事業税	3,733	5,934
法人税等調整額	713	△1,709
当期純利益	6,779	8,089
非支配株主に帰属する当期純利益	201	253
親会社株主に帰属する当期純利益	6,577	7,836

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	15,296	10,389
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,512	1,419
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,312	△2,328
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△91	△177
現金及び現金同等物の 増減額	2,381	9,302
現金及び現金同等物の 期首残高	25,474	16,171
現金及び現金同等物の 期末残高	27,855	25,474

### 報告セグメントの変更等に関する事項

当期より、従来「海外・貿易事業」に含めていた食料関連の連結子会社4社（㈱池光エンタープライズ、ウイングエース（株）、㈱ヴィントナーズ、アグリ（株））を「食料事業」に含めて記載する方法に変更しております。この変更は、第1四半期連結会計期間においてサンエイト貿易（株）及び㈱コダマなどの株式を新たに取得し連結の範囲に含めたことに伴い、食料事業のシナジー効果をより高めるため、事業展開に合わせた管理体制の見直しを行ったことによるものであります。

なお、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

# 会社情報

## ■ 会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商号	カメイ株式会社
英文名称	KAMEI CORPORATION
本社所在地	仙台市青葉区国分町三丁目1番18号
設立	昭和7年12月29日
資本金	81億32百万円
連結対象会社数	連結子会社 37社 持分法適用会社 5社
売上高	(平成30年3月期) 連結 4,477億74百万円 個別 2,902億46百万円
従業員数	(平成30年3月末) 連結 4,899名 個別 1,893名
カメイグループ	国内57社、海外法人16社

## ■ 役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	亀井文行
専務取締役	亀井淳一
専務取締役	高橋啓之
常務取締役	安部仁市
常務取締役	高橋清光
常務取締役	佐藤淳一
取締役	遠藤良一
取締役	亀井昭男
取締役	鷲足直樹
取締役	菊地信寛
取締役	佐藤清悦
社外取締役	尾町雅文
常勤監査役	菅原正明
社外監査役	後藤忠雄
社外監査役	佐藤富士夫

## ■ 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	87,281,000株
発行済株式の総数	37,591,969株
株主数	2,889名

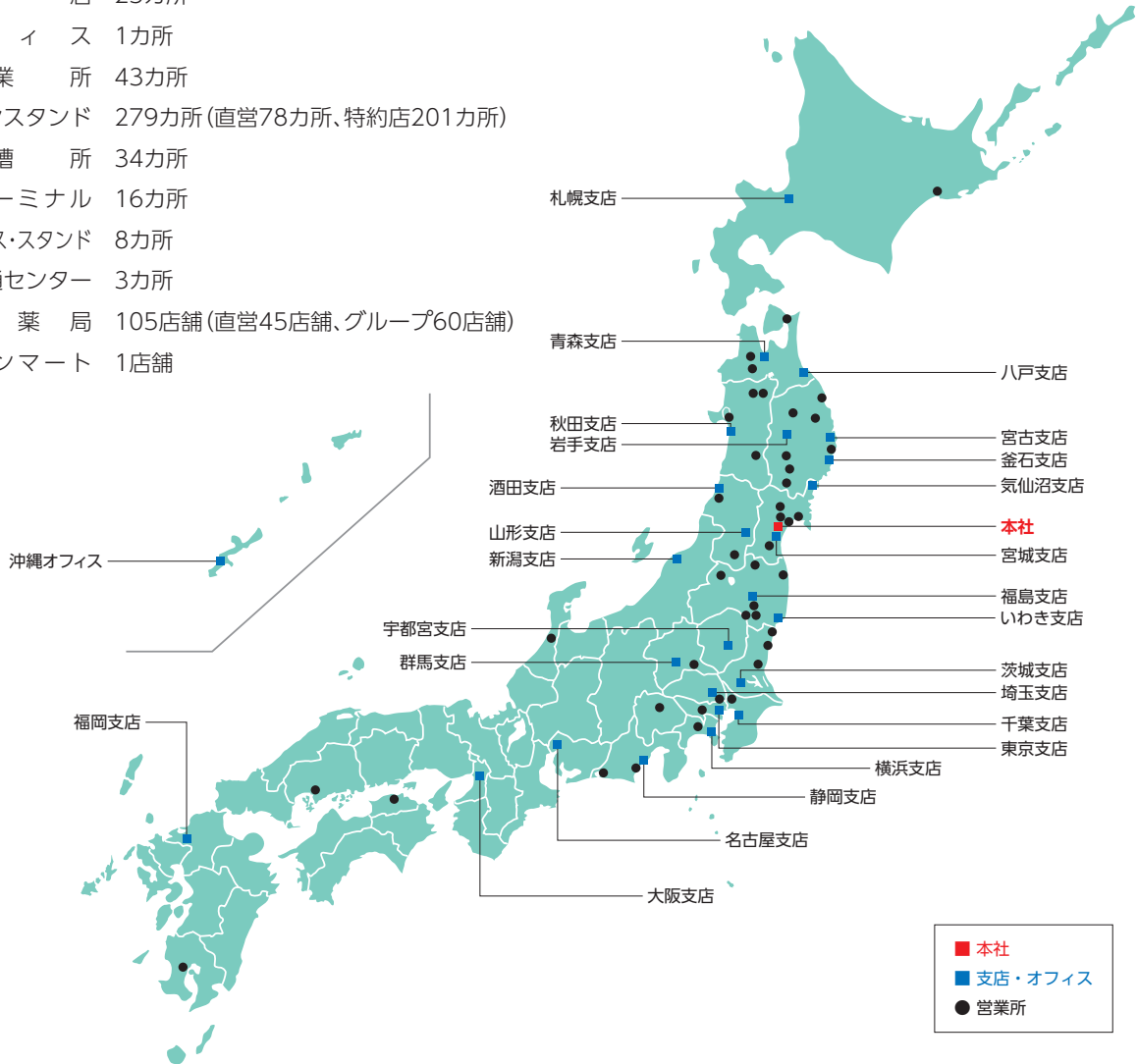
## ■ 大株主の状況 (平成30年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社亀井興産	3,000	8.93
亀井文行	2,505	7.46
カメイ不動産株式会社	2,443	7.27
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,100	6.25
公益財団法人亀井記念財団	1,650	4.91
亀井昭伍	1,014	3.02
有限会社グリーン・ウッド	1,000	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	803	2.39
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	774	2.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	704	2.10

- (注) 1. 当社は自己株式3,990,933株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 国内ネットワーク (平成30年3月31日現在)

支店	25カ所
オフィス	1カ所
営業所	43カ所
ガソリンスタンド	279カ所 (直営78カ所、特約店201カ所)
油槽所	34カ所
ガスターミナル	16カ所
オートガス・スタンド	8カ所
食料流通センター	3カ所
調剤薬局	105店舗 (直営45店舗、グループ60店舗)
グリーンマート	1店舗



# グループ紹介

## エネルギー事業

東北ガス株式会社  
栃木液化ガス株式会社  
株式会社パシフィック

株式会社センナンエネルギー  
株式会社新白河エルピーガス供給センター  
さいとうガス株式会社

## 食料事業

株式会社樋口米穀  
株式会社池光エンタープライズ  
ウイングエース株式会社  
株式会社ヴィントナーズ  
アグリ株式会社  
サンエイト貿易株式会社  
株式会社コダマ  
株式会社アンジェリーナ  
シーズンダイニング株式会社

## 住宅関連事業

カメイエンジニアリング株式会社

## ファーマシー事業

株式会社遠藤薬局  
株式会社まろん  
株式会社水戸薬局  
株式会社アイム  
株式会社ありす薬局  
エムシーエス株式会社  
株式会社エイエム・ファーマシー  
株式会社オアシーズ  
株式会社板東薬品  
M2メディカル株式会社

## ペット関連事業

株式会社オーシマ小野商事  
ペットアイ株式会社  
トムソンコーポレーション株式会社

## その他の事業

カメイ物流サービス株式会社  
富士オイルサービス株式会社  
能代第一急便株式会社  
塩釜石油基地防災株式会社  
カメイ商事株式会社  
ミツモト商事株式会社  
テンプスタッフ・カメイ株式会社

株式会社フィットネスプロモーション  
株式会社クロノスメディカルデバイス  
株式会社ネクスト仙台  
株式会社一・四・一  
石巻漁港石油配送協同組合  
株式会社宮城テレビ放送  
株式会社ミヤギテレビサービス

## 自動車関連事業

仙台トヨペット株式会社  
山形トヨペット株式会社  
カメイオート株式会社  
カメイオート北海道株式会社  
オリックスレンタカー・カメイ株式会社  
株式会社トヨタレンタリース仙台  
仙山テクノクラフト株式会社  
株式会社ジェームス仙台  
トヨタ部品宮城共販株式会社

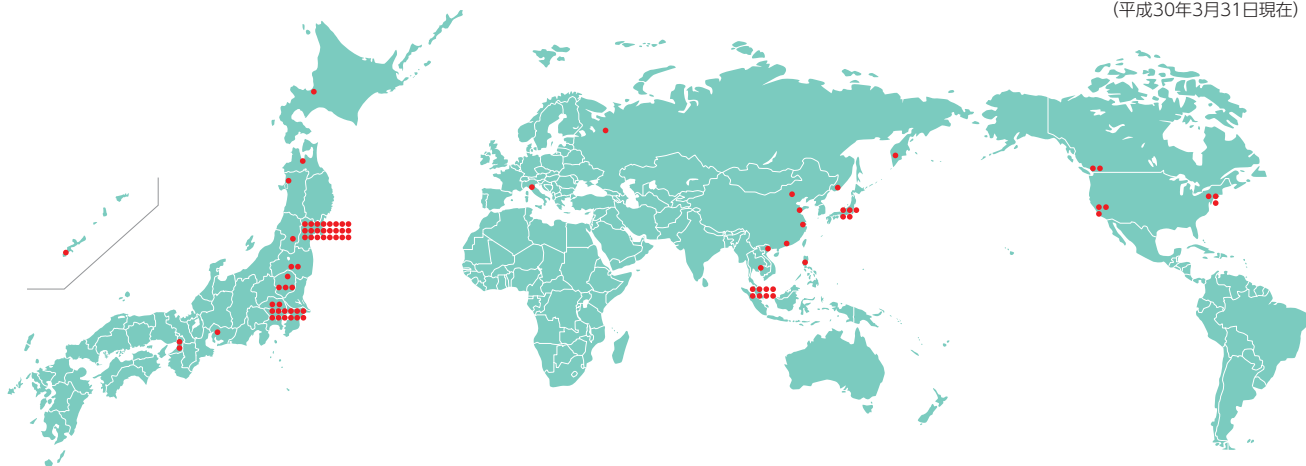
## 海外・貿易事業

カメイ・プロアクト株式会社  
KCセントラル貿易株式会社  
サンプラザ株式会社  
三興メイビス株式会社  
有限会社ナバホスポーツ

## 海外法人

Kamei North America Co., Ltd.	Imei (Exim) Pte. Ltd.
Mitsuwa Corporation	Santouka Kamei Singapore Pte. Ltd.
YNJ, LLC	Lee Huat Yap Kee Pte. Ltd.
Central Boeki U.S.A., Ltd.	LHYK Marine Pte. Ltd.
Katagiri & Co., Inc.	Translub Marine Pte. Ltd.
Central Boeki Calif., Ltd.	Lee Huat Yap Kee & Co. Pte. Ltd.
Santouka Kamei Canada Foods Ltd.	Qingdao Saint Sports Co., Ltd.
Kamei Singapore Pte. Ltd.	Sanko Mabis (Beijing) Corporation

(平成30年3月31日現在)



# トピックス

## おかげさまで、カメイグループの調剤薬局が100店舗を突破いたしました

平成29年12月1日、カメイグループの調剤薬局で100店舗目となる「目黒鷹番店」が東京都目黒区に開局しました。その後新規出店やM&Aを積極的に推進し、平成30年3月31日時点での調剤薬局数は105店（直営45店、関係会社60店）となりました。

### ■ 当社ファーマシー事業の歩み

当社は平成12年7月に第1号店となるカメイ調剤薬局気仙沼店を開局し、調剤薬局事業を開始いたしました。その後、宮城県を中心に店舗数を拡大するとともに、積極的なM&Aの推進により、平成21年には大阪府、平成23年に東京都・神奈川県、平成25年に愛知県、平成26年には兵庫県に開局し、店舗網を拡充いたしました。

また、調剤薬局事業とのシナジー効果が期待できる在宅医療事業や介護事業に参入するなど事業領域の拡大に努めております。

### ■ 皆様に選ばれる「かかりつけ薬局」を目指して

カメイグループの調剤薬局は安心・信頼・納得・快適をコンセプトに、地域の皆様に信頼され親しみのある「かかりつけ薬局」を目指しております。

これからも、地域の皆様の生活に寄り添い、信頼され、愛される薬局を創ってまいります。

調剤薬局事業



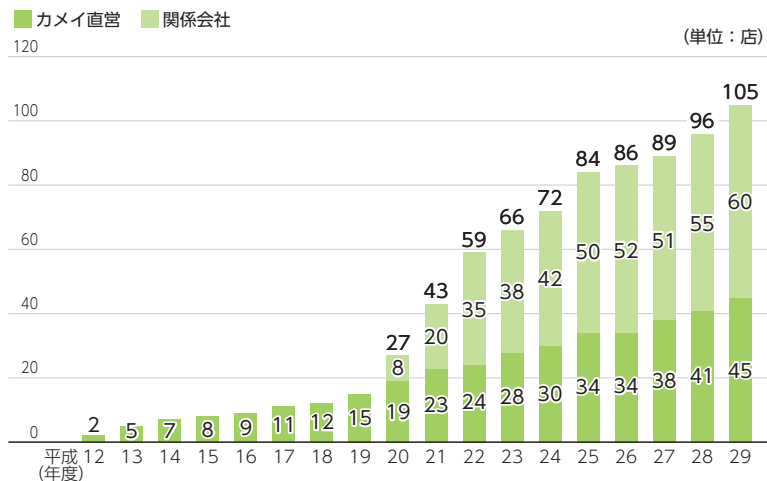
在宅医療事業



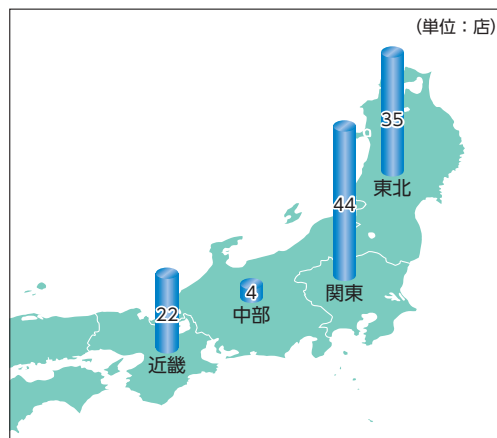
介護事業



### カメイグループ調剤薬局数の推移



### カメイグループ調剤薬局地域別店舗数



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
公告掲載紙	日本経済新聞

## 株式事務に関するご案内

### 1. 証券会社等の口座に記録された株式

株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

### 2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

### 3. 未受領の配当金のお支払いについて

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

